

# ひめだ高宏ニュース

No.1066

15. 8. 19

## 8月24日から9月定例会市議会

すっきりと涼しくなったようは気がします。8月17日(月)9月定例会市議会日程案を決める議会運営委員会が開かれ、2面のとおり8月24日から31日までと決まりました。異例ですが、国体開催の関係で8月中旬に終わってしまふ9月定例会市議会になります。

## 一般会計補正予算などの議案

議会運営委員会が終わり9月定例会市議会議案書が配布されました。

報告関係では、自動車事故に対する損害賠償や市営住宅に係る訴えの提起など5件の市長専決処分が。

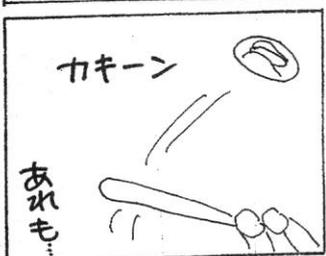
予算関係は7億2990万9千円の一般会計の増額補正です。主なものは、14年度の臨時福祉給付金の精算による国への返還2億4888万4千円、雑費・三田・野崎・広瀬・吹上・湊

和歌浦・有功東小学校の体育館の吊り天井の撤去1億9450万円、14年度子育て世帯臨時特例給付金精算による国への返還9573万1千円、LIFEの避難誘導44基の設置440万円、南消防署の建替工事の設計と旧南保健センター解体工事3820万6千円、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅のスプリングラー設置補助3506万1千円、地域支え合いセンター整備補助3千万円、地域の未利用地を活用した公園整備9百万円、公園(川)による市道・農道、水路、林道、秋葉山公園、親子つりパーク、浪見ビーチ植樹

## フリーの人々



(844)



## 今週のフリーの人々 (その12)

### 東京オリリンピック

今年結構、高校野球をテレビで見ました。高校野球100年ということと、王貞治さんの始球式から始まり、大会前から話題の早実の清宮選手など一度見ておきたいと思っただけです。と言ってもよく見て、試合中3回くらいです。立ち上がり一回に点が入るとヤ、とんどん振ってくるバッターや投手の交代が面白いことを知りました。勝ち負けを超えてその

の返1700万8千円、和歌山駅前・市駅前広場のタクシー乗り場の段差解消309万6千円などです。条例関係では法律改正に

伴う引用規定の改正、手数料条例、市原文化会館の住所変更の条例。その他、市道路線認定、工事請負契約締結。



ひめだ高宏

やかなのがスポーツの良さですが、いま世界のスポーツの祭典の東京オリリンピックをめぐって、新国立競技場やエンブレムのデザインについて何やら変な気配がただよっています。これらのニュースを聞かずに私の頭には、五輪招致で安倍首相が世界に向かって放射能の汚染水は完全にブロックしています。と叫んだことばが鳴り響くのです。安倍首相はすみやかに、ご退場願います。

# めざらしくいし物が届きました

「広島の人からいただいた古い着物をほいでいたら、お尻の所を補強するために古い布が縫いつけてあ

りました。呉軍需部の文字があるので、何か役に立てばと届けてくれた方がありました。

品名	製年月	寸法	記名
呉軍需部	年 月	( )	

貸用品の作業服の名札用に印刷したものの余り物だと思われまます。コピーして現品は、平和委員会に届けてもらおうと松坂みち子木様にお願いしました。

# くんにちは日本共産党

終戦70年の夏に

安倍自公政権による戦争法案策定のさなか、アジア・太平洋戦争の日本の敗戦から70年を迎えました。安倍首相は14日表の「70年談話」に「不

戦の誓い」などの言葉を書き込む一方で、記者会見では戦争法案について「日本同盟が完全に機能する」「必要法制」と述べ、「戦争する国」への推進姿勢をおおらかにしています。70年前、日本が敗れた戦争は、310万人以上の国民と2000万人を超すアジア諸国民を犠牲にしたも

のです。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにする」(憲法前文) 決意を裏現していくことが不可決です。日本共産党は、憲法を踏みにじり、再び日本を「海外で戦争する国」に安んずせたいためにも戦争法案廃案をめざして頑張ります。

**戦争法案を廃案に!**  
**国会報告と日本共産党を語るつどい**  
 8月30日(日)  
 13:30 ~  
 勤労者総合センター6階  
 (市役所西側U)  
 宮本たけし 衆院議員

# 9月定例会市議会日程案

月日(曜)	会	議
8.24(日)	本会議	議案説明 「請願受理期限」質疑・委員会付託
25(火)	常任委員会	私(ひめだ)は秋です
26(水)	常任委員会	委員会報告、討論、採決
27(木)	本会議	
31(月)	本会議	

44年ぶりの国体開催で、諸準備や舞因の関係で9月定例会市議会は一般質問をせず、に会期を短縮したいという提案があり、日本共産党市議団も同意しました。

**「父と暮らせば」の演劇見て**

8月9日(日)市民会館小ホールで演劇鑑賞会8月例会・「まつ座公演」父と暮らせば「父見ました。こまつ座は、座付作者・井上ひさし作品のみで上演するために83年に作られた制作集団です。

1948年の広島。登場人物は、図書館に勤める美津江と父親の竹造の2人だけ。竹造は広島原爆で亡くなったのですが、なぜか美津江の身の回りや美

津江の恋愛の世話をするのです。原爆で父親を失った美津江が抱える生き残りたとの罪悪感と理不尽な原爆による命を奪われた竹造の生き残りた娘への思いが交錯する舞台でした。

「父と暮らせば」は原爆もあかんと思えます。長崎被爆70年の日に見たのも何かの因縁と言えなくもありません。「時間20分という上演時間も良かったです。